

新しい相談員が着任

「心配ごと相談所」専門相談員

町社会福祉協議会が毎週水曜日開設している「心配ごと相談所」の専門相談員が新しく決まり、6月1日、辞令交付が行われました。

新しく専門相談員に着任したのは、昨年1月、益城町惣領に法務事務所を立ち上げ、地域に貢献している行政書士の松尾（まつお）さん（第2・3水曜日担当）と司法書士（第3水曜日担当）です。

町長が「若い人から高齢者までが、安全で住みよい町にするため、ご協力ください」と辞令を交付すると、お二人は「町民の身近な心配ごとを少しでも解消し、安心して暮らせるまちづくりに貢献していきたい」と受け取りました。



住永町長から辞令を受ける松尾（まつお）相談員（中央）と松尾英美相談員（左）

町の小学校にテントを寄贈

熊本りんどうロータリークラブ

熊本りんどうロータリークラブ（岡田達哉（おかだ たつや）会長）から、町ヘテント1張の寄贈があり、5月26日、町長に目録が手渡されました。

クラブテーマに「地球の子どもを守る」を掲げ、地元に貢献できるクラブ作りを目指している同クラブは、平成19年から毎年、地域の子どものために役立ててほしいと町

に対して寄付を行っており、今回が5回目。今回の寄贈を受けて住永町長は「非常に有り難い。ご趣旨に沿えるよう学校に配備し、運動会や地域のイベントなどに積極的に活用して、役立てていきたい」とお礼を述べました。

なお、いただいたテントは、飯野小学校に贈られることになりました。

菖蒲で心にオアシスを

小池地域資源保全チーム

遊休地を解消し、憩いの場を作ろうと、小池地域資源保全チーム代表・森川護（もりかわ 護）さん、約50人（のみな）さんが育ててきた、こあきしょうぶ園の花菖蒲が6月上旬、見ごろを迎えました。

この菖蒲園は、農地・水・環境保全事業の一環として、小池の水神さんの前にある約200㎡の遊休地を利用し、会員のみなさんが昨年

の1月から整備を行ってきたもので、見ごろは毎年、5月下旬から6月中旬です。代表の森川さんは「毎日手入れを行っています。管理は大変ですが、きれいに咲いたときは感動しました。多くの人に見ていただきたい。また、地区内に適当な場所があれば増やしていきたいですね」と活動に意欲を見せていました。



花の手入れも行き届き美しく咲きほこる、こあきしょうぶ園の菖蒲